

[第1回日本産業精神保健学会 D&I 推進研修セミナー (学会員限定)]

<主催> 日本産業精神保健学会 D&I 推進委員会

『LGBT 理解増進法』適切な理解と職場での速やかな展開にむけて」

2023年6月「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」(いわゆる「LGBT 理解増進法」)が制定・施行されました。紆余曲折を経て成立した法ですが、職場において多様な性が尊重されるために、知っておきたい法律の内容や運用のあり方について学ぶための研修を企画しました。職場の保健、人事等に関わる学会員の皆様に、ぜひ奮ってご参加いただければと思います。

<日時> 令和6年5月18日(土) 13:00~15:35

<会場> Zoom ウェビナーを利用したオンライン視聴 (リアルタイム配信のみ)

<プログラム>

開会 13:00~

講演1 13:05~14:15 (指定発言 15分含む)

テーマ: 「ジェンダー・セクシュアリティ論入門~『LGBT 理解増進法』の理解のために~」

講師: 三橋 順子 (明治大学文学部非常勤講師)

座長: 山本 和儀 (EAP 産業ストレス研究所所長/山本クリニック院長)

指定発言: 田中 克俊 (北里大学) 14:00~14:15

<休憩 5分>

講演2 14:20~15:30 (指定発言 15分含む)

テーマ: 『LGBT 理解増進法』の適切な理解と職場での展開

講師: 鈴木 秀洋 (日本大学危機管理学部教授)

座長: 井上 幸紀 (大阪公立大学)

指定発言: 生越 照幸 (弁護士法人ライフパートナー法律事務所) 15:15~15:30

閉会 ~15:35

<取得可能単位> なし (学会認定産業精神保健専門職制度の単位のみ)

産業精神専門職制度 [https://www.jsomh.org/specialdr/specialdr\\_saisoku.php](https://www.jsomh.org/specialdr/specialdr_saisoku.php)

<参加費> 無料

<参加登録方法> 必ず参加登録が必要です。下記 URL をクリックしご登録ください

<https://sanseihodiversityandinclusion2401.peatix.com>

<参加登録期間> 2024年5月17日(イベント前日) 17:00 まで

<修了証について> 受講の証明として参加者のログインを確認のうえ修了証をお送りします。

<セミナー全般に関するお問い合わせ>

D&I 推進委員会 研修担当 Mail: [diversity.inclusion.promo@gmail.com](mailto:diversity.inclusion.promo@gmail.com) (佐倉・島本)

<チケットシステム (Peatix) に関するお問い合わせ>

ヘルプページ: <https://help-attendee.peatix.com/ja-JP/support/home>

お問い合わせフォーム: <https://help-attendee.peatix.com/ja-JP/support/tickets/new>

(以下、講師プロフィール続きます)

### 【講師プロフィール】

三橋順子（みつはし じゅんこ）1955年、埼玉県秩父市生まれ。  
ジェンダー&セクシュアリティの歴史学研究、とりわけ、性別越境（トランスジェンダー）の社会・文化史。及び、買売春（主に昭和戦後期）の歴史。

1995年頃から男性から女性への性別越境者（Trans-woman）の立場で講演・執筆活動を始め、2000年に中央大学文学部兼任講師（現代社会研究）に任用され、日本で最初のトランスジェンダーの大学教員となった。2005年にはお茶の水女子大学非常勤講師として専論講座としては日本初となる「トランスジェンダー論」の講義を担当した。

その後、都留文科大学、群馬大学（医学部）、早稲田大学、関東学院大学などの非常勤講師を歴任。

現在は、明治大学文学部非常勤講師、慶應義塾大学法学部招聘講師。

著書に『女装と日本人』（講談社現代新書、2008年）、『新宿「性なる街」の歴史地理』（朝日選書、2018年）、『歴史の中の多様な「性」 ―日本とアジア 変幻するセクシュアリティ』（岩波書店、2022年）、『これからの時代を生き抜くためのジェンダー&セクシュアリティ論入門』（辰巳出版、2023年）。

共編著に『戦後日本女装・同性愛研究』（中央大学出版部、2006年）、『性欲の研究 東京のエロ地理編』（平凡社、2015年）など。

主な論文に、「女装秘密結社『富貴クラブ』の実像」（アジア遊学 210『歴史のなかの異性装』（勉誠出版、2017年）、「トランスジェンダーと法」（『クィアと法 性規範の解放／開放のために』日本評論社、2019年）、「LGBTと法律 ―日本における性別移行法をめぐる諸問題―」（『LGBTをめぐる法と社会』日本加除出版、2019年）、「ICD-11とトランスジェンダー」（『保健の科学』2020年4月号 杏林書院 2020年）、「「LGBT」史研究と史資料」（総合女性史学会編『ジェンダー分析で学ぶ 女性史入門』岩波書店、2021年）、「「唄子」を探して ―大阪における「女装バー」の成立と展開―」（『Antitled』2号、2023年）など。

詳しいプロフィール「私の軌跡 ―順子のできるまで―」（↓）

<http://junko-mitsuhashi.blog.so-net.ne.jp/2014-04-23-3>

詳しい研究業績（↓）。

<http://junko-mitsuhashi.blog.so-net.ne.jp/2014-04-23-4>



鈴木秀洋（すずき ひでひろ）

日本大学大学院 危機管理学研究科教授 日本大学 危機管理学部教授 法務博士、保育士

DEI (Diversity, Equity&Inclusion)、こども、ジェンダー、災害、虐待、DV, ストーカー対策、行政と刑事の架橋、福祉と保健・医療と教育との連携、学校事故、学校災害、他機関連携、地域連携など、多様な一人ひとりの命（心と体）を継続的に守り抜くための法制度設計や運用について学際的に研究するとともに、実務に具体的に還元する実践活動をおこなっている。自治体職員のためのLGBTQ理解増進法逐条解説ハンドブック（第一法規2023）など著書多数。